

相生市議会だより

第 97 号

平成 22 年 6 月 10 日

発行：相生市議会 <相生市旭一丁目 1 番 3 号

☎ 23-7122 >

編集：議会報編集委員会



藤棚（中央幼稚園）

三月議会から

三月定例会市議会は、三月二日から三月二十五日までの二十四日間開催されました。

今期定例会では、平成二十一年度補正予算九件、平成二十二年予算九件、条例改正等十件、事件案件四件、人事案件一件を審議しました。

すべての案件は、可決、同意されました。その主なものは九〜十ページにまとめました。

施政方針に対する質疑および一般質問は、六名の議員が行い、市政の現状、方針等考え方をいたしました。その概要については、四〜七ページにまとめました。

五月臨時会から

五月十四日に臨時会を開催し、新しい議会構成が決定されました。

議長、副議長、議会選出監査委員、議会運営委員会、各常任委員会の委員が一〜三ページのとおし決まりました。

新しい議会構成を決定しました



副議長
三浦 隆利



議長
角石 茂美

就任挨拶

市民の皆さまには、平素から市政並びに市議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

このたび、相生市議会議長、副議長に就任させていただきましたこととなりました。微力ではありますが、円滑な議会運営に努め、より開かれた議会となるよう最善の努力を尽くす決意であります。

市議会は、市の意志決定を行う議決機関であると同時に、執行機関の監視機関でもあります。

このため、私たち議会におきましては、山積する課題の重要性を真摯に受けとめ、市民の皆さまから、負託されました議会の果たすべき責任と役割の重大さを痛感するとともに、公正、公平に諸課題の解決に向け努力してまいります。

どうか皆さま方の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

議会選出監査委員



坂口 正哉

議会選出委員等

西播磨水道企業団議会議員

豆鞆 宏重・後田 正信
前川 郁典・吉田 政男
奥本巴千雄・大川 孝之
楠田 道雄

安室タム水道用水供給
企業団議会議員

吉田 政男・角石 茂美

赤相農業共済事務組合
議会議員

三浦 隆利・渡邊 慎治

農業委員会委員

宮舛 真木・阪口 正哉

民生委員推薦会委員

前川 郁典・楠田 道雄

国民健康保険運営協議会
委員

三浦 隆利・柴田 和夫

環境保全審議会委員

豆鞆 宏重・渡邊 慎治
岩崎 修

都市計画審議会委員

宮舛 真木・阪口 正哉



副委員長
渡邊 慎治



委員長
もり 盛 耕三

議会運営委員会
議会を円滑に運営するため、議会運営全般について協議・調整します。

委員
土井 本子
豆鞆 宏重
前川 郁典
楠田 道雄

常任委員会・会派構成



委員
三浦 隆利



委員
阪口 正哉



委員
宮崎 真木



委員長
後田 正信



委員
大川 孝之



委員
奥本 巳千雄



委員
盛 耕三



副委員長
豆鞆 宏重

総務文教常任委員会（八人）
企画管理部、出納室、議会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、消防本部、教育委員会等に関する事項を調査・審査します。



委員
岩崎 修



委員
前川 郁典



委員
土井 本子



委員長
渡邊 慎治



委員
柴田 和夫



委員
楠田 道雄



委員
角石 茂美



副委員長
吉田 政男

民生建設常任委員会（八人）
市民環境部、健康福祉部、建設経済部、市民病院、農業委員会に関する事項を調査・審査します。

会派別議員

相生市では、二人以上の議員で会派を構成しています。

緑風クラブ（七人）

- （代表） 前川 郁典
- （幹事長） 豆鞆 宏重
- 阪口 正哉、三浦 隆利
- 盛 耕三、吉田 政男
- 角石 茂美

クローバー（五人）

- （代表） 楠田 道雄
- （幹事長） 土井 本子
- 宮崎 真木、奥本 巳千雄
- 柴田 和夫

公明党（二人）

- （幹事長） 後田 正信
- 渡邊 慎治

会派に属さない議員

- 岩崎 修（共産党）
- 大川 孝之（無会派）

議会報編集委員会

- 委員長 岩崎 修
- 副委員長 前川 郁典
- 委員 宮崎 真木
- 委員 豆鞆 宏重
- 委員 後田 正信
- 委員 阪口 正哉
- 委員 柴田 和夫

三月議会 施政方針に対する 代表質問・一般質問

図書館・市立図書館について
やさしいまちづくりについて
生活交通について
(代表質問) 楠田 すすだ
みち雄 道

問 「わくわく学力アップ事業」による学力検定および「くんぐん国語力アップ事業」の概要は。

答 学力アップ事業は、小学校三年生以上の児童を対象に、一・二学期末には、国語・算数、学年末には、四教科の学力テストを実施し、八十点を合格点とし合格点に達しなかった子どもには補充学習を行います。

また、国語力アップ事業は、言語能力を高めるため読書や音読などに積極的に取り組む事業です。特に読書を奨励するため、スタンプラリー方式で、一定の冊数に達すると読書賞を交付し、各小学校で音読発表会を実施しています。

問 小学校高学年を対象に教科担任制を導入する学校が増えているが、本市においても、学級担任制から教科担任制への変更、その研究はされているのか。

答 平成十三年度より双葉小学校で、県教育委員会の指定を受けた教科担任制に取り組んでいます。平成二十一年度は、同小学校で「兵庫型教科担任制」の指定を受け、五・六年生を対象に算数・理科で少人数指導を実施しました。なお、平成二十二年年度から中央小学校でも取り組めます。

問 市立図書館の業務委託後の新たな取り組みは。

答 一階の開架室のコーナー、郷土作家コーナー、おすすめの図書コーナーなどを設置しております。

問 読書推進事業および読み聞かせボランティアの活動状況は。

答 子どもに対して行うブックスタート事業、夏休み子ども図書館員事業、保護者対象の子どもの本勉強会、子どもと本のかげ橋事業、また、

絵本の原画展などを行っています。

市内小学校には、十の読み聞かせボランティアグループが、朝の読書時間の手伝いやブックトークなどの活動をお願いしております。

問 太陽光発電システム設置に対する補助制度の現状は。また、相生市新環境マネジメントシステムの策定概要は。

答 国の補助制度の復活や余剰電力の買い取り価格が二倍となったため、三十五件の申請がありました。なお、平成二十二年度は、一件の限度額を十二万円に拡大いたします。また、近隣市では姫路市が助成を行っております。新環境マネジメントシステムは、CO2削減のためのエネルギー管理に重点を置き、ISO14



学校ボランティアによる読み聞かせ

001では評価の対象外であった市民や事業所を巻き込んだ環境施策を管理評価の対象として取り組みます。

問 交通弱者の課題に対応したシステムづくりが急がれている。特に、デマンドタクシーの運行には、大きな期待が寄せられているが、現在の試験運行計画等は。

答 平成二十二年五月から六カ月間、矢野町三地区、若狭野町三地区で、自宅から最寄りのバス停までの送迎を事前予約制で、一人一回百円の利用料により、試験運行を実施します。なお、本格実施するかどうかの判断基準については、生活交通システム検討会の合意を得て設定いたします。

問 相生市における生活習慣病検査のうち、胃がん検診の受診率および発見率の実績。また、受診率の向上対策は。

生活習慣病検査について
みやくさ 宮 眞木

※デマンドタクシー：一般のタクシー車輛を使い、決められたコースと時間の中で、予約のあった便のみ運行する乗合タクシー

答 四十歳以上の胃がん検診受診率は、平成二十年度実績で、一、八九八人、一七・二%の方が受診しています。

胃がん発見率は、一人の方が精密検査を受け、そのうち、二人の方から発見されたため、〇・一%です。

なお、受診率向上のため、市が実施した特定健診およびがん検診の未受診の約一万四千人にアンケート調査を行い、その結果をもとに、より健康診査を受けやすくする環境づくりを図ります。

問 新しい胃がん検診方法として、血清ペプシノゲン法とあり、これは、胃がんがでやすい方を発見する検査で、発見率の向上に繋がります。この方法の早い時期での導入の考えは。

答 血清ペプシノゲン法については、現在のところ、対策型検診方法として推奨されていないことなどから、導入計画はありません。しかし、今後、国、近隣市町の動向を考慮し検討したいと考えます。

西播磨広域行政
課題市町連絡会
について

おおくもと ちみちお
奥本 巳千雄

問 西播磨広域行政協議会について、これまでのような効果があったのか。

答 各構成団体が実施する道路などの公共施設整備を広域計画と連動させることで促進されたこと、職員研修の共同実施、国・県等への要望活動、また、自治体間の交流等にも効果があったと考えています。

問 新たに設置する西播磨広域行政課題市町連絡会について、市として取り組むべき課題の優先順位は。

答 短期的なもの、医療、防災、有害鳥獣対策などで、中・長期的には、森林組合の広域化、ごみ処理場の建設などが検討する課題であると考えています。また、広域行政の重要度は強く感じており、こ

れからも地方分権が進み、道州制を含めた国と地方のあり方にも大きな変化が生じると認識しています。機が熟した場合には、合併をも視野に入れて取り組んでいく覚悟であり、今でも西播磨テクノポリスを中心とした「西播磨市構想」は、決して断念をしていませんし、正しい方向であると思っています。

市民病院、学校教育について
消防団について
道路整備について
市庁舎の耐震について
(代表質問) 石茂 かげみ

問 市民病院の現状での役割はどのようなものか。

答 現在、地域連携を強化し、他の病院で長期療養となった患者、県立粒子線医療センターへの通院患者の受け入れ、また常勤医師の専門性を生かした乳腺外来、肛門外来等の専門外来を行っています。

また、消化器系・循環器系を中心としたプライマリーケアも担いながら将来的には、医師確保に

たつて、在宅医療も担っていきたくと考えております。

問 市民病院改革プランによる平成二十二年度末に判断する収支バランスの基準をどのように考えているのか。

答 今年の十二月頃に決算の見込み、また、翌年度の医師確保状況の見込みについて報告できる状況になります。

このため、その頃には、判断できると考えております。

問 小・中学校の適正配置について、学校の名称を一度総合的に検討すべきではないか。

答 学校の名称については、その地域の歴史的背景や学校との結びつきも十分考慮しつつ、市の考え方もお示ししますが、最終的には保護者、地域住民の合意により、決定していきたく考えています。

問 消防団の組織再編による費用対効果は。

答 経費面での効果は、平成二十八年度までに消防ポンプ自動車等を二十二台から十五台とし、車両の維持管理費などで約二千万円の削減効果があると考えております。



相生市消防団第5分団車庫新築

※プライマリーケア：住民にとって身近な医療機関が行う健康相談や診療などの総合的な保健・医療サービス

問 旧国道的那波野から、たつの市原までの狭小部分の道路整備の検討について。

答 旧国道那波野の未施工部分、約六七〇メートルについては、たつの市原の整備状況との関わりも大きいことから、たつの市とも協議を進めながら、事業費が増大となる街路事業等ではなく、道路改良事業等で実施を検討したいと考えております。

問 第五次相生市総合計画策定について、「ふるさと相生」をどのようなまちにしていきたいと考えているのか。

答 人と人との「きずな」をまちづくりの原動力としていきたいと考えており、五つのまちづくりの基本目標を立て、新たな公による考え方で、多様な主体が目的を共有して取り組む企画と協働の地域づくりを進めていきます。

問 市庁舎の耐震診断で悪い結果がでた場合、耐震補強を行うのか。また、新築の考えはあるのか。

答 市庁舎は、災害対策の指揮命令中枢機能を果たす施設であるので、IS値〇・九を確保したいが、診断結果が低

強度で、耐震補強に相当な費用がかかるのであれば、新築を含め検討したいと考えています。

問 昨年の台風九号等による災害を教訓に、当市の減災に対する取り組みは。

答 ハード面は、平成二十一年度事業の主なものとして、県により、河川改修、防潮堤の整備および急傾斜地の崩壊対策事業などを実施しました。

ソフト面は、防災計画に基づき、市民の皆さまの安全確保や要援護者対策のほか、防災訓練の実施や備蓄品の確保に努めてきました。また、災害が発生した場合の心のケアを行うカウンセラーの確保も必要な課題と考えています。

取り組みについて質問
AEDについて質問
任意業務(代表)後
まきの信正



たつの市原側から見た道路市境

問 相生市のAEDステーションの現状は。また、最近AED機器の不具合等が報道されているが、本市の更新状況は。

答 小児用の肺炎球菌ワクチンをヒブワクチンと併せて接種することで、約八割から九割の



AED講習

問 小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業、小児細菌性髄膜炎対策事業および子宮頸がんワクチン接種事業の取り組みは。

答 AED登録制度を発足させて一年余が経過し、設置事業所も、現在七八となっております。なお、機器の有効期限前には、代理店等から設置事業所に連絡があると聞いており、適正な維持管理をお願いしています。

問 このため、平成二十二年予算において、予防接種の助成を計上させていただきますか。

答 なお、子宮頸がんワクチンについても、その効果を認識しておりますが、現在、供給体制や副反応等の情報を収集している段階であり、今後、国の動向等を注視しつつ検討いたします。

地域医療と市民病院について
子どもの医療費無料化について
学校施設等について
(代表質問) いわさき 岩崎 おさむ 修

問 市民病院の地域医療での役割と責任をどう考えているのか。

答 相生市民病院では、圏域で不足している軽症急性期、亜急性期医療を行い、在宅医療後方支援病院としての役割を果たして行きます。

問 子どもの医療費無料化は、現在、各自治体において、大きな流れとなっている。本市においても、入院だけでなく通院も中学三年生まで拡大すべきではないか。また、そうした場合、財源はどれほど必要か。

答 通院についての医療費は、入院に比べ少ないものですが、件数が多いため総額が増えます。また、県からの助成もないことから、全額、市の負担となり、現在の厳しい財政状況から助成の拡大は困難であると考えます。

なお、推計で、約七百万円が必要であります。

今後、検討課題となるものと考えます。

問 震度六以上の地震で倒壊する危険性のある学校施設の耐震化が平成二十二年度までに完了する。しかし、全国の耐震化率を下回っており、遅れは歴然としている。今後の対策は。

答 現在予定している耐震補強工事が完了すると、耐震化率は、七十一・八%となる予定で、平成二十一年度末の県下市町の耐震化率見込み七十三・六%と比べ、低い数値であります。

今後、少しでも前倒し施工できるように国に対し、補助金の増額を要望

するなど児童生徒の安全確保に努めます。

問 学校は、地域のコミュニティや活性化から重要な施設である。このため、地域振興等を含めた検討が必要で、統廃合を急ぐことはないと思うが。

答 学校が地域コミュニティの中心であると認識しています。一方、児童生徒の減少は、教育条件、環境に様々な問題を引き起こしており、切磋琢磨できる環境を整えるため、学校が適正に配置されることが必要です。このため、地域住民の理解と協力を得ながら推進する必要があると考えます。



双葉中学校耐震工事

委員会の審査から

予算審査 特別委員会

本委員会は、議会改革の一環として、本年度より新たに設置され、次の委員七名が選任されました。

- 委員長 阪口正哉
- 副委員長 岩崎 修
- 委員 宮舛真木
- 土井本子
- 豆鞘宏重
- 後田正信
- 盛 耕三

委員会は、三月十七日、十八日に開催され、その主な質疑内容は次のおおります。

【一般会計】

◇デマンドタクシー試験
運行委託料について

(問) 運行開始時期および利用件数の見込みは。

(答) 本年五月から半年の実験期間で一、四七二台分を予定している。

(問) 効果の判断基準、対象地域へのPRは。

(答) 現在のバス利用者の約三割増を目安に考えている。また、地元説明会において、高齢者にわかりやすい説明を行いたい。

(問) 実験の結果、地域住民より独自で運行したいという希望がある場合、市としての補助等の支援を行う考えは。

(答) 支援については検討したい。

◇子ども手当について
(問) 支給対象児童は何名か。また、その事務について。

(答) 支給対象児童は、三、六八八名を予算計上している。申請が免除される児童手当受給者を除く支給対象者には、案内文書を送付する。

◇生活保護費について

(問) 保護件数の状況、また、保護の要因について。

(答) 保護世帯は、一一六世帯である。世帯数は、増加しており、失業等に起因するものは七割程度である。

◇任意予防接種費について

(問) ヒブワクチンと高齢者肺炎球菌ワクチンの対象者、回数、助成額は。

(答) ヒブワクチンは、生後二カ月から五歳未満の方で、四回を上限として、延三八四名に、高齢者肺炎球菌ワクチンは、七五歳以上の方で、延八五〇



トライやる・ウィーク

名です。助成額は、一回当たり四千円です。

◇トライやる・ウィーク推進事業委託料について

(問) 受け入れ事業所数と民間事業所数の動向は。

(答) 那波中二八力所、双葉中五四力所、矢野川中十四力所であり、民間企業数は横ばいです。

◇地域活性化・臨時交付金について

(問) この交付金により、少しは財政に余裕ができたと思うが、その分、市民の要望に応える施策はどうか。

(答) 次期の健全化計画で事業の見直しを行い、選択と集中で元気の出る計画とし、その中で考えた

い。

【特別会計】

(問) 国民健康保険税の滞納世帯数は。

(答) 二月末現在で、四三二世帯です。

(問) 生活困窮で、医療を必要とする場合は、短期被保険者証を交付した事例はあるのか。また、その動向は。

(答) 昨年十一月末で六二世帯、本年二月末で、五八世帯と減少している。

(問) 看護専門学校の本年度卒業生の就職状況は。

(答) 四八名の卒業生のうち、市内の医療機関に就職する者が四名、進学が一名、残りは市外の医療機関に就職する予定です。

(問) 特別養護老人ホーム

の待機者のうち、市民の方は何名か。また、その状況は。

(答) 昨年六月調査で、二二二名で、在宅の方は、一一四名、病院に六八名、他の介護施設が二三名等です。

(問) 介護職員処遇改善交付金制度の活用状況は。

(答) 相生市の六四の事業所中、約九十%の申請があった。

【企業会計】

(問) 診療報酬改定が市民病院の経営にどう影響を与えるのか。

(答) 改正内容が、産科、小児科等が主であり、当院には、ほとんど影響がありません。

(問) 今後、どのように医師確保を進めるのか。

(答) 難しい問題ではあるが、常勤医師の考えに沿った方向で進めて行きたい。

【表決について】

予算審査特別委員会の審査の結果を三月定例会最終日に報告され、討論を行い、賛成多数により、原案可決とされました。

【討論の内容】

(反対討論)

行財政健全化の名をも

平成22年度各会計別予算額 (単位:千円)

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	11,220,000	△3.1%
特別会計	9,201,510	△10.5
国民健康保険特別会計	3,884,000	2.8
老人保健医療特別会計	3,000	△75.6
公共下水道事業特別会計	2,143,700	△38.2
看護専門学校特別会計	122,810	△9.0
農業集落排水事業特別会計	394,100	△1.7
介護保険特別会計	2,247,500	7.1
後期高齢者医療保険特別会計	406,400	3.4
企業会計	787,000	12.2
病院事業会計	787,000	12.2
合計	21,208,510	△6.0

とに、住民サービスの切り下げや負担増がされ、また、民間委託・民営化による公的責任の後退など見直すべき予算が含まれ反対である。

【賛成討論】

事業展開等詰めが甘い部分もあるが、委員会の意見を十分に認識し予算執行をすることを条件に賛成する。

総務文教

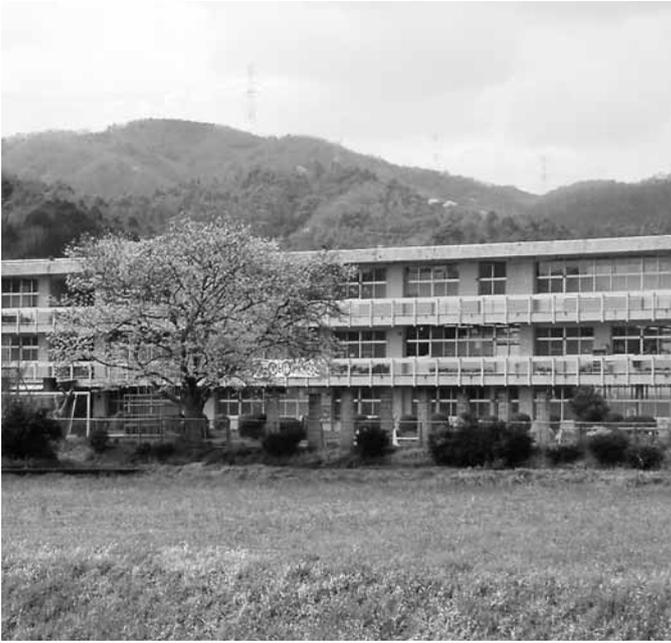
常任委員会

「行財政健全化について」は、平成十八年度から平成二十一年度までの取り組み結果について説明を受けました。

委員より、税収をあげ

るために民間を含めた市全体としての財産活用が必要と思うが、これまでの取り組みや今後どのように取り組むのかの質疑があり、市有地の有効活用等による歳入確保や企業誘致に取り組んできた。策定中の総合計画や次期行財政健全化計画において相生市の魅力を発信する中でいかに収入確保の施策に繋げていくかが最重要課題だと考えているとの説明を受けました。

「学校施設の管理運営等について」は、学校教育審議会から答申のあった相生市立小中学校適正配置計画について報告を



矢野小学校

受けました。

委員より、統合の目標年度が、矢野小は平成二十四年度、相生小は平成二十六年度となっているが、期間的な余裕はあるのか、また、複式学級を防止するため、市費で教員を雇用するとなると財政を圧迫しないかとの質疑があり、市として小中学校適正配置計画を策定していく際には、まちづくりや住民意識を考慮するとともに財政面の協議も進めたいとの説明を受けました。

また委員より、相生小

と中央小との組み合わせは考えられないかとの質疑があり、卒業後に那波中と双葉中に分かれて進学することになり、好ましくない状況となるとの説明を受けました。

**民生建設
常任委員会**

「少子化対策について」は、相生市次世代育成支援後期行動計画案の説明を受けました。

委員より、保育所の定員見直しや効率的な整備を進めるとあるが、保育所を整備するのかとの質

疑があり、定員については、民間保育所の定員見直しを含め平成二十六年度の目標値を設定している。整備については、公立保育所の老朽化や少子化の影響による幼稚園児数の減少の問題を踏まえ、就学前児童の保育・教育の在り方の検討を進めたいとの説明を受けました。

「CO2削減対策について」は、これまでにごみ有料化の実施、ISO14001認証取得、太陽光発電システム設置補助、マイバッグ持参運動に取り組んだ実績と効果について説明を受けました。

「市民病院の運営について」は、平成二十一年度の決算見込み、小児科時間外診療の今年度末での中止について説明を受けました。

委員より、昨年度よりやや経営状態が悪化しているのかとの質疑があり、昨年度より数字的には悪い状況となる見込みであるとの説明を受けました。

また、委員より、改革プランの平成二十三年度の繰入金六千四百万円の



太陽光発電パネル（矢野川中学校）

達成見込みはどうかとの質疑があり、今年度は目標をクリアできる見込みなので平成二十三年度に向けて職員一丸となって頑張りたいとの説明を受けました。

**三月議会で
決まったこと**

【予 算】

◇平成二十二年度の予算は、別表の「平成二十二年各会計別予算額」のとおり決まりました。

平成二十一年度の補正予算は、九会計で補正を行ない、一般会計で、一千五百万円減額し、百二

【案 例】

十五億七千六百八十九万六千円としました。
特別会計七会計および公営企業会計で七千二百四十一万六千円減額しました。

◇相生市農業振興審議会条例を廃止する条例

・ 農業振興地域の農用地等の除外に関する業務を農業委員会で審議するため廃止するものです。

◇相生市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

・ 退職手当の新たな支給制限および返納等の制度を設けるものです。

◇相生市福祉医療費等助成条例の一部を改正する条例

・ 福祉医療助成対象者の所得基準について改正するものです。

◇相生市消防手数料条例の一部を改正する条例

◇相生市市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

・ この二件は、関係法令の改正により、一部改正するものです。

◇相生市職員の給与に関する条例及び相生市職員の勤務時間等に関する

る条例の一部を改正する条例

・月に六十時間を超える時間外勤務に係る時間外勤務手当の支給割合を引き上げるものです。

◇相生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

・国民健康保険税の介護納付金の課税限度額を改正するものです。

◇相生市立特別養護老人ホームの設置に関する条例の一部を改正する条例

・この条例は、短期入所生活介護事業の定員を「四名」から「八名」にするものです。

◇相生市民の住みよい環境をまもる条例の一部を改正する条例

・地域の安全安心および環境保全の観点から、空家の管理者に対する適正な管理義務とその違反者に対する勧告を行うための規定を追加するものです。

◇相生市火災予防条例の一部を改正する条例の制定

・個室型店舗の避難通路確保を図る規定を追加するものです。

【事件案件】

◇和解及び損害賠償額の決定について

・相生市立総合福祉会館内で発生した事故に係る示談契約の締結および損害賠償額を決定するものです。

◇西播広域行政協議会の廃止について

・協議会を平成二十二年四月一日をもって廃止するものです。

◇訴えの提起について

・賃料支払請求権取立訴訟事件に関し訴えを提起するものです。

◇市道路線の認定について

・開発行為に伴う道路整備により一路線の認定を行うものです。

【人事】

◇副市長の選任について

同意しました。
相生市山手一丁目 一三番地の五
瀬川 英臣 さん

陳情の審査結果

【継続審査】

◇陳情第一号

改正国籍法の厳格な制度運用を求める意見書を提出する陳情

◇陳情第一号

永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書を提出する陳情

五月臨時会で決まったこと

【報告】

◇平成二十二年度における地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
処分の件報告
・報告について承認しました。

◇相生市一般会計予算繰越明許費について

・報告について了承しました。

議長交際費の執行状況について

相生市議会では、開かれた市議会をめざして、議長交際費の執行状況を公開いたします。

平成21年度支出明細

区分	件数	金額(円)
慶弔費	4	28,000
渉外賄関係	4	40,360
その他	4	14,000
合計	12	82,360

平成21年度予算額
300,000円

☆詳しくは、市議会ホームページ(※)をご覧ください。

編集後記

議会編集委員会の委員が交代しました。市議会の情報をよりわかりやすく、市民の皆さまにお届けできますよう努力してまいります。今後とも、よろしくお願いたします。



議会活動状況

<3月>

- 10日 議会報第96号発行
- 11日 定例会市議会 再開
- 12日 定例会市議会 再開
- 15日 民生建設常任委員会
- 16日 総務文教常任委員会
- 17日 予算審査特別委員会
- 18日 予算審査特別委員会
- 25日 定例会市議会 閉会
- 29日 東京都中野区議会 行政視察来相

<4月>

- 13日 西播磨市町議長会 (姫路市)
- 14日 播但市議会議長会 (宍粟市)
- 16日 議会報編集委員会
- 20日 近畿市議会議長会 (堺市)
- 23日 総務文教常任委員会
- 28日 兵庫県市議会議長会 (加東市)

<5月>

- 6日 代表者会議
- 10日 議会運営委員会
- 11日 茨城県高萩市 行政視察来相
- 12日 群馬県富岡市 行政視察来相
- 14日 臨時市議会開会
- 18日 総務文教常任委員会
- 19日 民生建設常任委員会
- 26日 全国市議会議長会 (東京都)

<6月>

- 1日 議会運営委員会